

京都市生物多様性プラン（2021-2030）の 評価指標

京都市生物多様性プラン（2021-2030）の評価指標

(1) 考え方

生物多様性の状態を端的に表す指標はなく，統計値や事業実績などの個々の増減のみの評価はなじまないことから，本プランの評価に当たっては，複数の客観的・主観的指標を設定し，指標ごとの評価を行ったうえで，各目標・達成項目の達成状況を総合的に判断する。

(2) 評価のイメージ

例えば，目標の達成項目ごとに1つ又は複数の指標を設定し，指標の推移に応じて達成度をA～Eの5段階で評価する。また，達成項目の評価を踏まえ，各目標の達成度も同様に評価する。

		指標名	指標推移	達成項目の評価	目標の評価
目標	達成項目1	指標1	↗	C	C
		指標2	→		
		指標3	↘		
	達成項目2	指標4	↗	A	
		指標5	↗		
	達成項目3	指標6	→	B	
	達成項目4	指標7	→	D	
		指標8	↘		
		指標9	↘		

京都市生物多様性プラン（2021-2030）の評価指標

(3) 指標例

目標1 京都らしさを支える生物多様性の持続可能な利用を図る

- ・「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト」参加者数
- ・緑被率
- ・エコツーリズムの実施実績 等

目標2 生息・生育地と種の多様性を保全・回復する

- ・重点保全地域のうち保全活動を実施している地点数
- ・地目別面積（田, 畑）
- ・耕作放棄地面積
- ・エコファーマー認定者数 等

目標3 生物多様性に配慮したライフスタイルへの転換を図る

- ・自然を身近に感じている人の割合
- ・生物多様性とのつながりを認識している人の割合
- ・生物多様性に配慮した製品を優先的に購入している人の割合 等

目標4 社会変革に向けた仕組みを構築する

- ・生物多様性保全の担い手宣言制度（仮称）登録者数
- ・生物多様性保全活動団体数
- ・京の生きもの生息調査報告数 等

京都市生物多様性プラン（2021-2030）の評価指標

（参考） 2030年度までの目標

目標 1 京都らしさを支える生物多様性の持続可能な利用を図る

達成項目

- 1 京都の文化を支える生物資源を持続的に利用する。
- 2 自然が持つ多様な機能を活用して、都市のレジリエンスの向上を図る。
- 3 生物多様性を活用した持続可能な観光を促進する。

目標 2 生息・生育地と種の多様性を保全・回復する

達成項目

- 1 多様な動植物が見られる重要な生息・生育地の環境を改善する。
- 2 里地里山の生物多様性の劣化を食い止め、回復を図る。
- 3 種の絶滅を食い止める。
- 4 生態系や人の健康、農林業に被害を及ぼす外来生物の拡大を防止するとともに、新たな定着を阻止する。
- 5 海洋汚染につながる河川のプラスチックごみを削減する。
- 6 地球温暖化を緩和する。（温室効果ガス排出量 2013 年度比 40%以上削減）

目標 3 生物多様性に配慮したライフスタイルへの転換を図る

達成項目

- 1 生物多様性に配慮した消費行動が広がっている。
- 2 一人ひとりが自然を身近に感じ、暮らしている。
- 3 一人ひとりが生物多様性とのつながりを認識している。
- 4 一人ひとりが生物多様性のために行動している。

目標 4 社会変革に向けた仕組みを構築する

達成項目

- 1 生物多様性に配慮した経済活動を促進する。
- 2 生物多様性保全のための活動を支援する。
- 3 生物多様性に関する情報の集約・発信力を強化する。
- 4 生物多様性の現状を把握するための知見を集積する。